

# 挑むヘルスケアビジネス九州の企業

高齢化や健康意識の高まりを受け、国内のヘルスケア市場は拡大を続けている。経済産業省の健康・医療新産業協議会がまとめた「アクションプラン2021」は、異分野やスタートアップ企業の参入を促し、健康長寿社会の形成に役立つ新産業創出の重要性を指摘する。ヘルスケアの分野に挑む九州の企業を紹介する。  
(随時掲載)

## 誤嚥性肺炎ゼロへ口腔ケア仕組み化

クロスケアデンタル (福岡市)

クロスケアデンタル(福岡市)は2018年、介護施設の誤嚥性肺炎ゼロを目指し、歯科医師の滝内博也さん(39)が起業。「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」として、介護職が安心して入居者の口腔ケアに取り組める仕組みを開発した。同プロジェクトには約100カ所の介護事業所が参加。導入施設では誤嚥性肺炎による入院が減少し、入院医療費削減や施設収入増加などの効果が表れている。

### 手順と器具を統一

誤嚥性肺炎は、食べ物や唾液などが誤って気道に入ることが要因。高齢者の肺炎の多くが誤嚥性で、死因の上位を占める。予防には口腔ケアが重要。介護施設でも必要性を認識しているが、利用者ごとに必要なケアが異なるなど、実施に自信を持っていないと感じる介護職も多い。

同社はどの利用者にも対応できるように統一化された手順と器具を開発し、介護職の口腔ケアへの不安解消を目指す。週1回の歯科医師・歯科衛生士による口腔ケアの実施で誤嚥性肺炎が減少するという国内の研究結果をもとに、介護職が週2回口腔ケアを行うというプログラムを組んだ。

介護職がゼロプロ式口腔ケアセミナーを受講し、意義と手法

を学んだ上で、口腔ケアを行う。歯科専門職が定期的に介護職を指導し、3カ月に1度、入居者の口の健康状態を評価。継続的に技術の質向上を図ることで誤嚥性肺炎の発症を防ぐ。

### 食べる楽しさ復活

口腔ケアはブラッシングとリハビリテーションで構成。うがい後にスポンジで大きな汚れを、歯ブラシで小さな汚れを取る。舌、歯茎、頬、口唇をマッサージし、1人につき5~10分で終了する。ふだんの食後は、入居者の機能に応じてうがいや必要最低限の口腔清掃を行う。

口腔内の状態を把握する指標「OHAT」を使い、口腔ケア前後の変化を客観的に評価。機能改善につれ、唾液が出やすくなり、舌も動くなど、口腔内が汚れにくくなる。食事のむせも減り、食べる楽しさを再獲得することで低栄養の改善にもつながる。

導入施設では、入居者の機能や見た目の改善など明らかな効果が出るため、職員の働きがいの向上や離職率の減少にもつながった。



クロスケアデンタル代表取締役で歯科医師の滝内博也さん



介護施設で実施しているゼロプロ式口腔ケア



介護職を対象にしたゼロプロ式口腔ケアのセミナー

誤嚥性肺炎による入居者の入院日数は5分の1に減少。すべての入院日数も3分の1に減ったため、入院医療費は約4200万円減少し、施設収入は1200万円増加した。収益改善分は職員に賞与として還元した。

滝内さんは「介護職が安心して

取り組むことで継続的な効果が得られる。高齢者の命を守るだけでなく、介護職の新しい活躍の場になってほしい。新しいことにチャレンジしたい施設や全国の歯科医と協力し、取り組みを進めていきたい」と語る。

## ヒトモノコト NAVI

### ANAのキャリーバッグ

全日空商事は、ANAグループ従業員の意見を取り入れて開発したキャリーバッグ「ANAオリジナル フロントオープンキャリー」を自社通販サイトで発売した。容量は約40ℓで荷物量に応じて拡張できる。機内に持ち込めるサイズで、内側は飛行機柄をあしらった。2万8千円。問い合わせは通話無料のお客様サポートデスク、(0120)283250。



### 限定色入りのクーピー

サクラクレパス(大阪市)は、クーピー鉛筆セットの「クーピーペンシルキューブボックス72」を数量限定で発売した。「パールピンク」や「うすきみどり」など限定17色を含む72色入り。容器はボックス型で黒と白の2色があり、インテリアとしても楽しめるという。インターネット販売中心で1万2100円。問い合わせはお客相談窓口、06(6910)8818。



### サファイアガラスの腕時計

シチズン時計はビジネスマン向けの腕時計「シチズン アテッサ」から、文字盤の周りのベゼルと呼ばれる部品にサファイアガラスを採用した新モデルを発売した。艶と透明感が特徴で、気品のあるデザインに仕上げた。希望小売価格は最上位モデルが28万6千円。問い合わせは通話無料のシチズンお客様時計相談室、(0120)784807。

